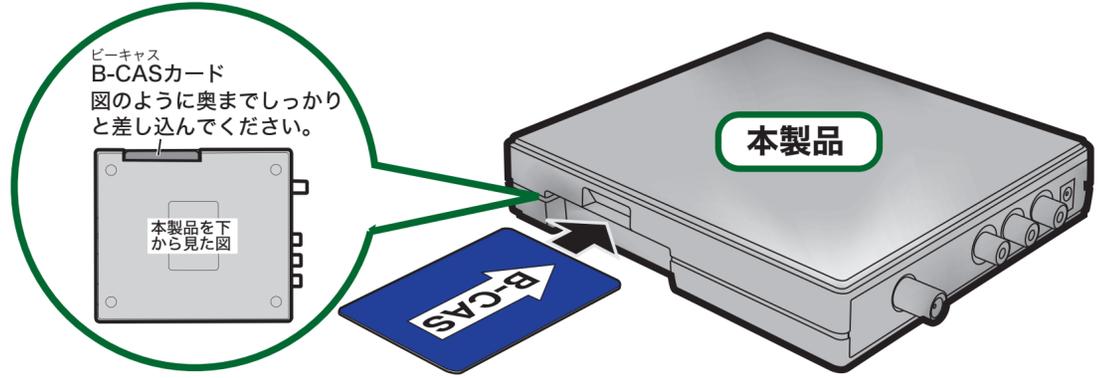


本製品を正しく使用するために、このマニュアルでセットアップをおこなってください。お読みになった後は、大切に保管してください。

- ・付属品の内容については、本製品の外箱に記載されています。
- ・別紙「クイックリファレンス」に記載の「安全にお使いいただくために必ずお守りください」を必ずお読みください。

1 ビーキャスト 付属の B-CAS カード (青いカード) をセットします

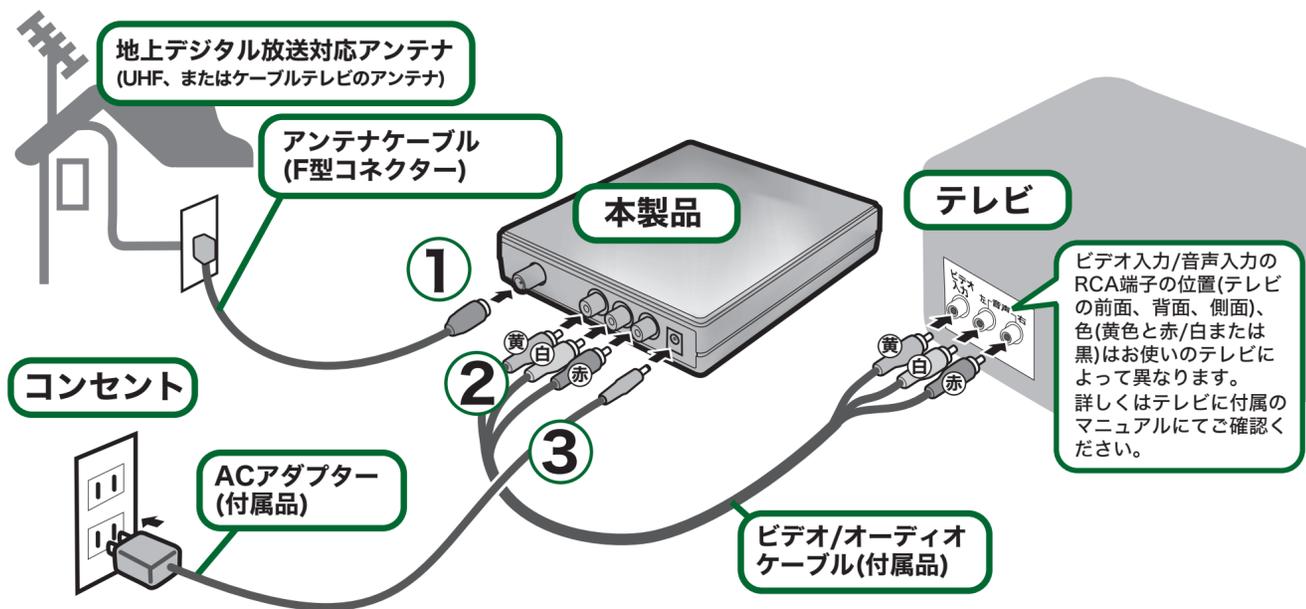
ビーキャスト「B-CAS」と印字された青い面が上になる向きで図のように差し込みます。



2 ケーブルを接続します

- 1 アンテナを接続する
- 2 テレビと接続する
- 3 ACアダプターを接続する

注意 アンテナケーブル・ビデオ/オーディオケーブルを本製品に接続するとき(ケーブルを接続し直すとき、ケーブルを変更するときを含む)は、必ずACアダプターを取り外した状態で行ってください。



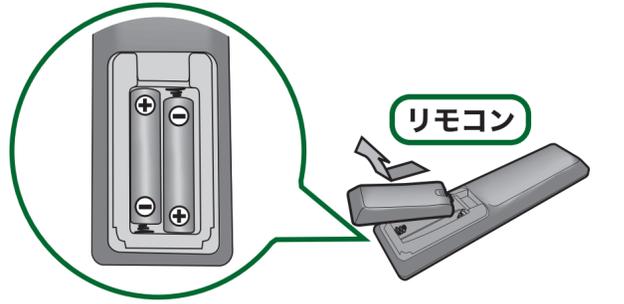
- ※アンテナケーブル(F型コネクター)は今までテレビに接続していたアンテナケーブルをお使いください。
- ※ACアダプターを接続すると、本製品前面の電源ランプが青色または赤色に点灯します。
- ※テレビの入力端子が2つしかない場合(モノラル音声しか入力できない)ときは、ビデオ/オーディオケーブルの黄色と白色のコネクターで本製品とテレビを接続してください。
- ※付属の固定用テープを本製品と設置する面に貼付し、本製品を固定することができます。

右上につづく

3 リモコンの準備をします

電池をリモコンに入れます

単四形乾電池2本を図のように⊕と⊖の向きに注意してリモコンに入れてください。
※付属の電池は動作確認用です。できるだけ早めに新しい電池とお取替えください。



リモコンでテレビを操作できるように設定します

付属のリモコンでテレビを操作するには、次の設定を行ってください。

- 1 リモコンの **テレビ** **電源** を押しながら
- 2 お使いのテレビのメーカー設定番号を押します。
例) パナソニック1: **10**、**1**の順に1つつづつ押す。



※1つのメーカーでも複数の設定番号があります。動作が確認できるまで設定番号を変えてお試しください。設定番号を変えて試すときは、一度リモコンの電源ボタンから指を離し、再度手順1から行ってください。
※動作しない場合は、お使いのテレビに付属のリモコンをご使用ください。

メーカー	設定番号	メーカー	設定番号	メーカー	設定番号	メーカー	設定番号
パナソニック(旧松下電器)1	10, 1の順に押す	日立 1	1, 1の順に押す	NEC1	2, 1の順に押す	船井 4	3, 1の順に押す
パナソニック(旧松下電器)2	10, 2の順に押す	日立 2	1, 2の順に押す	NEC2	2, 2の順に押す	船井 5	3, 2の順に押す
パナソニック(旧松下電器)3	10, 3の順に押す	日立 3	1, 3の順に押す	パイオニア	2, 3の順に押す	SAMSUNG	3, 3の順に押す
シャープ 1	10, 4の順に押す	三菱 1	1, 4の順に押す	富士通ゼネラル	2, 4の順に押す	LG	3, 4の順に押す
シャープ 2	10, 5の順に押す	三菱 2	1, 5の順に押す	アイワ 1	2, 5の順に押す	ORION	3, 5の順に押す
シャープ 3	10, 6の順に押す	三洋 1	1, 6の順に押す	アイワ 2	2, 6の順に押す	PHILLIPS1	3, 6の順に押す
ソニー 1	10, 7の順に押す	三洋 2	1, 7の順に押す	アイワ 3	2, 7の順に押す	PHILLIPS2	3, 7の順に押す
ソニー 2	10, 8の順に押す	ビクター 1	1, 8の順に押す	船井 1	2, 8の順に押す		
東芝 1	10, 9の順に押す	ビクター 2	1, 9の順に押す	船井 2	2, 9の順に押す		
東芝 2	1, 10の順に押す	ビクター 3	2, 10の順に押す	船井 3	3, 10の順に押す		

- 3 リモコンの **テレビ** **電源** から指を離します。

- 4 リモコンの **テレビ** **電源** を押してテレビの電源を入/切できるか確認してください。
(リモコンでテレビの電源を入/切するには、あらかじめテレビの主電源を「入」にしてください。) 切り換わらないときは、手順1から再度設定を行ってください。

設定が完了すると、本製品のリモコンで以下のボタンが使用できるようになります。

- テレビ電源**: テレビの電源を入/切します。
- 消音**: テレビの音声を消音します。
- 入力切替**: テレビを外部入力(ビデオ1、ビデオ2など)に切り換えます。
- 音量**: テレビの音量を調整します。

4 初期設定を行います

テレビ画面の表示にしたがって本製品の初期設定を行います。

- 1 本製品前面の電源ランプが赤色に点灯しているときは、リモコンの右上にある電源ボタン **電源** を押しください。電源ランプが青色に点灯します(すでに青色に点灯しているときは、そのまま手順2へお進みください)。
※本製品前面の電源ボタン **電源** を押しても本製品の電源を入/切することができます。
- 2 右の画面が表示されるまでリモコンの左上にある入力切替ボタン **入力切替** を押し(ビデオ1、ビデオ2等の外部入力に切り替えます)。
※動作しない場合は、お使いのテレビに付属のリモコンをご使用ください。
- 3 以降はテレビの画面の指示にしたがって操作をすすめてください。
※チャンネル検索には最大10分程度時間がかかります。10分経過してもチャンネルの検索が完了しないときは、本製品に接続されているACアダプターを取り付け直してください。本製品起動後、手順1から再度やり直してください。



テレビの画面

初期設定が完了すると、検索したチャンネルの番組がテレビに表示されます。

うら面につづく

5 地上デジタル放送を視聴します

初期設定完了後、本製品の電源を入れるとテレビ画面に地上デジタル放送が表示されます。

チャンネルを変えます

リモコン

本製品



チャンネル上下ボタン

数字ボタン

チャンネル上下ボタン

チャンネルは、リモコンのチャンネル上下ボタン(または数字ボタン)か、本体前面のチャンネル上下ボタンで変更します。

マルチチャンネルの切り替えについて

現在視聴しているチャンネルが割り当てられているリモコンの数字ボタンを2回以上押すとマルチチャンネルに切り替わります。

また、チャンネル上下ボタンを押すと、マルチチャンネルも含めて全てのチャンネルを一つずつ順に表示を切り換えます。

※マルチチャンネルとは、放送局がハイビジョン放送1番組の代わりに標準画質放送を同時に複数番組(2~3番組)放送するチャンネルのことです。

字幕表示に切り換えます

字幕放送対応の番組では、リモコンの字幕ボタンを押すと字幕放送が表示されます。

※字幕放送に対応していない番組では、字幕ボタンを押しても字幕は表示されません。

現在放送している番組の一覧を見ます

リモコンの番組表ボタンを押すと、現在放送している番組の一覧を表示します。

一覧から番組を選択し、リモコンの決定ボタンを押すと選択した番組に表示を切り替えます。

ズームボタンで適切な表示に切り換えます

ワイド型でないテレビ(4:3)をお使いの場合に、画面に黒い帯があるときは、リモコンのズームボタンを押すと全画面表示に切り換えることができます。



ズームボタンを押すと



左右の一部がカットされ、画面いっぱいに表示されます。

上下に帯が入って表示されている。



ズームボタンを押すと



画面いっぱいに表示されます。

上下・左右に帯が入って表示されている。

※映像によってはズームボタンを押しても黒い帯が表示されることがあります。このようなときは、お使いのテレビのマニュアルを参照して表示設定を調整してください。

リモコン



ズームボタン

本製品は自動的に最新のシステムに更新されます

本製品のシステムや機能は、テレビの電波を使って自動的に更新(改善)されます。

※更新時期は、設定画面の「お知らせ」でお知らせします。

本体前面のお知らせランプが橙色に点灯したら、リモコンのメニューボタンを押して、「お知らせ」から更新時刻を確認してください。

更新する時刻の10分前には、本製品をスタンバイ状態(電源ランプ赤色点灯)にしておいてください。

アップデート中は画面に注意が表示(お知らせランプは橙色点滅)されます。画面の指示には必ず従ってください。

アップデートが完了すると、お知らせランプが橙色点灯し、本製品の設定画面「お知らせ」にアップデート完了のメッセージが追加されます。

本製品の設定

リモコンのメニューボタンを押すと、本製品の設定画面を表示することができます。設定画面では、次のことが設定できます。



設定画面

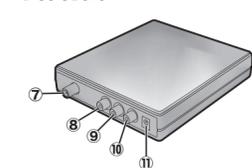
チャンネル設定	チャンネル取得	チャンネルの検索を行い、自動でチャンネルを設定します。(引越しなどで電波の受信方法が変更されたときにチャンネル取得を実行し、チャンネルを再設定します。)
	リモコンボタン割当て設定	リモコンの各数字ボタンに割り当てる放送局を選択します。
本体設定		テレビ画面の設定: テレビに応じて「ワイドテレビ(16:9)」「標準テレビ(4:3)」を選択します。 文字スーパーの設定: 文字スーパーを「日本語」「英語」「なし」から選択します。 LEDの明るさ調節: 本製品前面のランプの明るさを5段階で調節できます。 設定初期化: 工場出荷時の設定に戻します。
情報表示		本製品のソフトウェアバージョン、B-CASカードの情報を表示します。
アンテナ表示		チャンネルの電波の強度を表示します。
お知らせ		放送局、受信機からシステム更新のお知らせがある場合には、メッセージを表示します。

各部の名称とはたらき

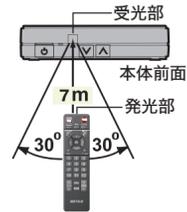
本体前面



本体背面



リモコンの使用可能範囲



本体

① 電源ランプ	消灯: ACアダプターを接続していない状態 赤色点灯: 電源切(待機状態) 青色点灯: 起動中 黄色点灯: 電源入(番組視聴中) 赤色点灯: 起動エラー(ACアダプターを接続しなおしても赤色点滅するときは、弊社修理センターに修理をご依頼ください。)
② 電源ボタン	電源を入/切します。 ※長時間使用しないときは、ACアダプターを本製品から取り外してください。
③ お知らせランプ	橙色点灯: お知らせに未読メッセージがあります。 黄色点灯: アップデート中
④ 赤外線受光部	リモコン信号の受光部です。 ※受光部の前に物を置くと、信号を遮らなさい。
⑤ チャンネル上下ボタン	チャンネルを切り替えます。
⑥ B-CASカード挿入口	付属のB-CASカードを挿入します。
⑦ 地デジアンテナ入力端子	地上波デジタル放送対応のアンテナと接続します。市販のF型コネクタアンテナケーブルを別途ご用意ください。
⑧ コンポジットビデオ出力(黄)	付属のビデオ/オーディオケーブルを接続します。
⑨ アナログ音声出力端子(左:白)	
⑩ アナログ音声出力端子(右:赤)	
⑪ 電源コネクタ	付属のACアダプターを接続します。

リモコン

電源ボタン	本製品の電源を入/切します。
電源(テレビ用)ボタン	テレビの電源を入/切します。
入力切替(テレビ用)ボタン	テレビを外部入力(ビデオ1、ビデオ2など)に切り換えます。
字幕ボタン	字幕の表示を切り換えます(第1→第2→なし)。
音声切替ボタン	音声出力を切り換えます(主:主+副→主→副、多国語:第1→第2→...)
画面表示ボタン	視聴中の番組情報を表示します。
番組表ボタン	現在放送している番組一覧を表示します。
方向ボタン	カーソルを移動します。
決定ボタン	選択した項目を決定します。
戻るボタン	前の画面に戻ります。
メニューボタン	本製品の設定画面を表示します。
数字ボタン	チャンネル番号を入力します。
チャンネル上下ボタン	チャンネルを切り替えます。
ズームボタン	ワイド型でないテレビ(4:3)をお使いの場合、画面に黒い帯があるときに全画面表示に切り替えることができます。
音量(テレビ用)ボタン	テレビの音量を調整します。
消音(テレビ用)ボタン	テレビの音声を消音する/しないを切り替えます。

製品仕様

最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ (buffalo.jp) をご参照ください。

受信放送方式	地上デジタル放送 (ISDB-T)
地上デジタル放送受信チャンネル	VHF 1ch~12ch, UHF 13ch~62ch, CATV C13ch~C63ch
アンテナ入力	F型コネクタ(入カインピーダンス75Ω)
対応機能	CATVパススルー、字幕放送、簡易番組表(現在放送している番組の一覧)
出力端子	コンポジット映像端子(1系統・RCAピン端子) ステレオ音声端子(1系統・RCAピン端子)
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	最大4W
外形寸法	W125xH28xD143mm (突起部含まず)
重量	約245g (本体のみ)
動作環境	温度0~40°C、湿度10~80%(結露なきこと)

※本製品は、データ放送および双方向サービスには対応していません。

■本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部または全部を弊社に無断で転載、複製、改変などを行うことは禁じられております。

■BUFFALO™は、株式会社メルコホールディングスの商標です。本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。本書では、TM、®、©などのマークは記載していません。

■本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があります。現に購入された製品とは一部異なることがあります。

■本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社はいかなる責任も負いかねます。設備や設計、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意ください。

■本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。

■本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等(または役務)に該当するものについては、日本国外への輸出に際しては、日本国外政府の輸出許可(または役務取引許可)が必要です。

■本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。

■弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合には、保証していません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用する場合、本製品に記憶された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破損に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。

■本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。